

！ 赤い文字は本来のテキストには記載されておりません。授業の進行具合の解説、もしくは授業で生徒が記述する部分です。

助動詞

！ 英語の文法で最も重要なのは言葉を置く場所です。まずそこから抑えていきます。

○ 助動詞とは動詞に少し意味を添える言葉です。

置く場所

(**主語と動詞の間**)

否定文の作り方

(**助動詞の後ろに not**)

疑問文の作り方

(**主語の前に助動詞をだす**)

注意

(**助動詞の後ろの動詞は原形になる (原形とは動詞に何もくっついていない、辞書に乗っているままの形)**)

● よく使う助動詞

- must (**～でなければならない** / **義務**)
- will (**～するだろう** / **予定**)
- can (**～できる** / **可能**)
- may (**～しても良い** / **許可**)

● 意志を表す助動詞

- will
(**強い意志** 名詞では「意志」という意味→ **意志があれば未来が変わる**)
- shall (**提案や申し出程度の弱い意志** **～しましょう**)
- should (**～するべき**)

● 可能性を表す助動詞

- must (**強い確信** **～にちがいない**)
- may (**5分5分の推測** **～かもしれない**)
- cannot (**～するはずがない**)

！ 英文法で大切なのは言葉の役割と品詞を特定し、文章の中での位置を正確に見極めることです。細かな文法はあとで覚えればいいので、上述の規則を使ってどんどん文を書いて行きます。

- ・ 彼は そのカバンを 運ぶことが できる。
主語（名詞） 目的語（名詞） 述語（動詞） 助動詞
-

- ・ あなたは ここで 数学を 勉強して もいいですよ。
主語（名詞） 副詞（場所） 目的語（名詞） 述語（動詞） 助動詞
-

- ・ 私たちは 来年 オーストラリアに 行く つもりだ。
主語（名詞） 副詞（時間） 副詞（場所） 述語（動詞） 助動詞
-

このような考え方で以下の文章を英訳してゆきます。細かな文法はその都度、必要に応じて教えていきます。

- ・ 彼らは向こうにこの木を植えてはいけない。 （否定の義務）
-

- ・ 彼女はピアノを弾きことができますか。
-

- ・ 私はこの鉛筆を使ってもいいですか。
-

○ 可能性を表す文章を書いてみよう。(be 動詞の原形は be です)

- ・ 彼は医者になれない。
-

- ・ 彼はアメリカ出身とは思えない。

-
- ・ その犬は太っている。しかし、ドーベルマンかもしれない。

ドーベルマン Doberman pinscher

-
- ・ 彼らがそのドアを壊したに違いない。 壊す break

-
- 色々な文章を書いてみよう。

- ・ 私たちがその問題を解いてみましょう。 解く solve

-
- ・ 君は一生けんめいにテニスを練習するべきだ。

-
- ・ 私たちはここで昼食を食べなくてははいけませんか。

-
- ・ 彼は僕たちの先生かもしれない。

-
- ・ 僕は東京には旅行に行けない。

-
- ・ 次の日曜日に私は野球の試合を観る予定だ。

-
- ・ 一緒にそのスナックを食べましょう。 一緒に～しよう Shall we

- ・ 彼らはその自転車に乗ることができますか。

-
- ・ 私たちは楽しい時間を過ごすでしょう。 楽しい時間を過ごす
have a good time

-
- ・ 私の母は三つの言語を話すことができる。 言語 language

-
- ・ 君が正しいのかもしれない。 正しい right

-
- ・ その男の子たちは試合に負けるかもしれない。 負ける lose

-
- ・ この辞書を使ってもいいですか。

-
- ・ 病院で走っては行けません。

-
- ・ トムは疲れているのかもしれない。 疲れている tired (形容詞)

-
- ・ 今夜、あなたに電話しましょうか。 今夜 tonight

-
- ・ ドアを開けてもらえますか。

-
- ・ 窓を閉めましょうか。 閉める close
-